

愛称：みらいメディカル

アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

追加型投信／内外／株式

第11期

（決算日 2024年1月15日）

作成対象期間（2023年7月19日～2024年1月15日）

第11期末（2024年1月15日）	
基準価額	11,093円
純資産総額	46,079百万円
第11期	
騰落率	2.9%
分配金（税込み）	500円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」（当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」）をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書（全体版）をクリック

- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

<お問い合わせ先> お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

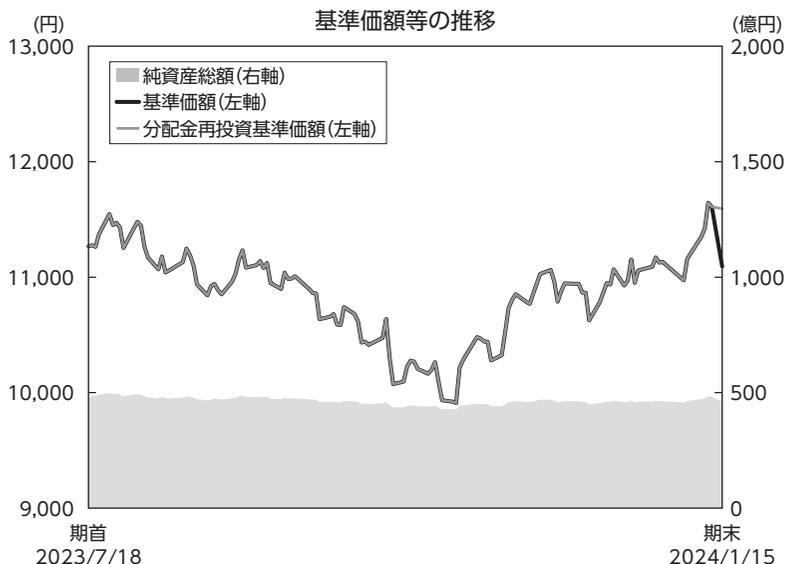
<3352972・3396822>

運用経過

基準価額等の推移

第11期首	11,268円
第11期末	11,093円
既払分配金 (税込み)	500円
騰落率	2.9% (分配金再投資ベース)

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2023年7月18日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ① 2023年11月から当期末にかけて、株式市場が全体として堅調に推移したこと
- ② 同期間、医療テクノロジー関連銘柄が2023年7月以降の下落からの反動で大きく反発したこと
- ③ 当期初から11月半ばにかけて、円安・米ドル高基調で推移したこと

下落要因

- ① 当期初から2023年10月末にかけて、株式市場が全体として軟調に推移したこと
- ② 同期間、医療テクノロジー関連銘柄は、有効な糖尿病および肥満症治療薬の普及で治療機器に対する需要が減少する懸念などから、糖尿病関連銘柄を筆頭に大きく下落したこと
- ③ 2023年11月半ばから12月半ばにかけて、一時的に円高となったこと

1万口当たりの費用明細

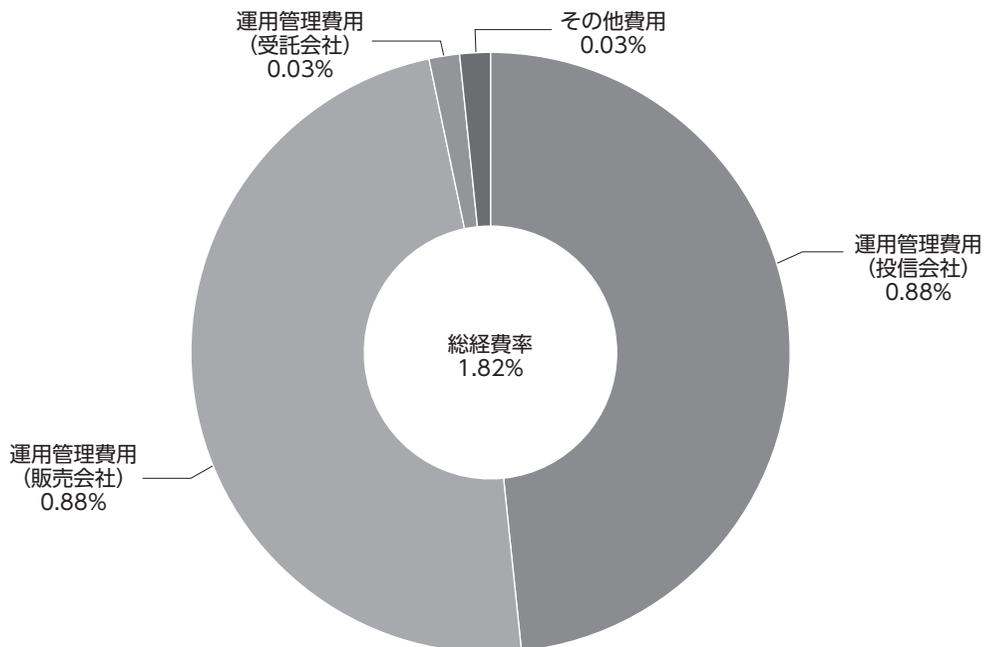
項 目	第11期 (2023年7月19日 ～2024年1月15日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a)信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	97円 (47) (47) (2)	0.887% (0.435) (0.435) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)売買委託手数料 (株 式) (先物・オプション)	1 (0) (0)	0.005 (0.004) (0.001)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c)有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d)その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	2 (1) (1) (0) (0)	0.014 (0.005) (0.005) (0.003) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	100	0.907	
期中の平均基準価額は10,885円です。			

- (注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

● 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

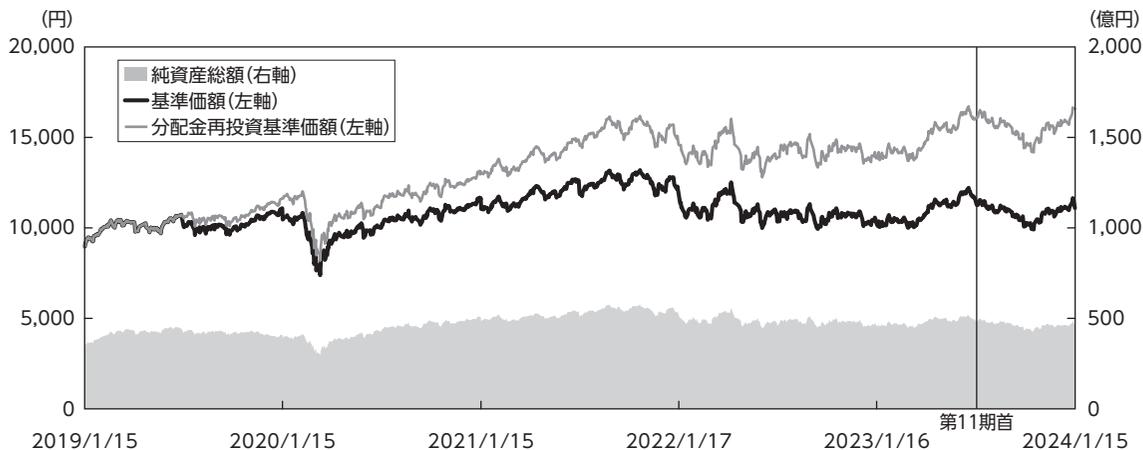
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応する費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年1月15日～2024年1月15日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2019年1月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2019/1/15 期首	2020/1/15 決算日	2021/1/15 決算日	2022/1/17 決算日	2023/1/16 決算日	2024/1/15 決算日
基準価額(円)	8,967	10,465	11,040	11,357	10,116	11,093
期間分配金合計(税込み)(円)	—	1,100	650	1,000	700	1,000
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	29.5	11.9	11.9	-4.8	19.7
純資産総額(億円)	345	386	482	496	453	460

(注) 運用成果の目標基準となるベンチマークおよび運用方針に対し適切に比較できる参考指数はありません。

投資環境

〈世界株式市場〉

当期の世界株式市場は上昇しました。前半は高金利の継続や不透明な景気見通しが懸念されて軟調に推移しました。しかし2023年11月以降、インフレ圧力緩和の兆しとともに米国の金融政策が2024年前半には利下げに転換する可能性を織り込み始めて債券利回りが急低下すると、株価は急反発に転じました。年明け後は早期利下げ期待が剥落し、債券利回りも再び上昇に転じたものの、株式市場は企業業績への安心感などから続伸し、最高値近辺で当期末を迎えました。セクター別にみると当期中半は不動産、公益事業などの金利敏感セクターや、バリュエーションの高い情報技術、景気感応度の高い一般消費財・サービスなどが大きく下落した一方、エネルギーが大きく上昇し、コミュニケーション・サービスも下げ渋りました。11月以降の株価反発局面では情報技術、金融、不動産などがけん引役となった一方、エネルギーが反落し、生活必需品や公益事業なども鈍い動きでした。通期ではコミュニケーション・サービス、金融、情報技術などの上昇が大きく、生活必需品、公益事業、一般消費財・サービスなどは期初の水準前後まで戻すにとどまりました。

〈為替市場〉

米国では2023年7月末に今回のサイクルでは最後とみられる利上げが実施されましたが、利上げの停止が即座に利下げにつながるわけではなく、高金利が長引く可能性を市場が認識したことで米ドル高傾向が11月半ばまで続きました。米ドル/円相場は1米ドル140円を下回る期初の水準から、151円台まで上昇しました。しかし、米国国債利回りが10月半ばをピークに下げに転じ、11月以降は2024年前半に利下げが実施されるとの期待が強まって一段と利回りが低下した一方、日銀のマイナス金利解除への期待から円高方向に転換しました。12月末には141円台まで戻しましたが、年明け後も米国経済の強さが続き、早期利下げ期待が剥落したことで再び米ドル高となり、1米ドル145円前後で当期末を迎えました。英ポンド、ユーロなど欧州通貨は期を通じて対円で比較的狭いレンジでの動きでした。

ポートフォリオ

〈当ファンド〉

当ファンドは、アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンドを通して、主に先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っております。当期においても、運用の基本方針に基づきマザーファンドの組入比率は高位を維持しました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド〉

当マザーファンドは、バリュエーションと業績見通しなどの変化に対応して銘柄入れ替えと組入比率の調整を行いながら、50銘柄弱で構成されるポートフォリオ運用を行いました。ポートフォリオでは糖尿病および肥満症治療薬の普及が逆風となる可能性のあるインスパイア・メディカル・システムズやアウトセット・メディカルを全売却し、元々組入比率が小さかったいくつかの銘柄も全売却しました。また、上記の肥満治療薬製造会社向けに注射器などを提供するグレシェイマーも株価上昇局面で利益確定のために組入れを半減しました。一方、血管内の石灰化病変を音圧波パルスで破砕する治療機器を製造するショックウェーブ・メディカル、心血管関連のペナンプラ、歯科関連のストラウマン・ホールディングなどの7銘柄に新規投資しました。また、手術支援ロボットのインテュイティブサージカル、整形外科関連のストライカー、糖尿病関連のデクスコムなどを買い増しました。全体としては、診断機器などの比率が低下し、心血管／神経、非侵襲的治療機器などの比率が上昇しました。基準価額に対しては、株式要因のマイナス寄与が10月下旬まで大きく拡大しましたが、11月以降の株価反発で通期では株式要因はほぼ中立でした。組入比率の高いポストン・サイエンティフィックなどを中心に心血管／神経関連や、ソノバやエシロールルックスオティカなどの非侵襲的治療機器、アポットラボラトリーズなど診断機器のプラス寄与が、糖尿病関連などのマイナス寄与をほぼ相殺しました。為替要因は、期前半に大きなプラス寄与となり、通期でもプラスを維持しました。

(C P R アセットマネジメント)

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第11期
	(2023年7月19日～2024年1月15日)
当期分配金	500
(対基準価額比率)	(4.313%)
当期の収益	343
当期の収益以外	156
翌期繰越分配対象額	1,092

- ・「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- ・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

〈当ファンド〉

アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンドへの投資比率は今後も高位を維持します。
(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド〉

医療テクノロジー関連銘柄は、高齢化やイノベーションによる新たな市場拡大などの長期的な追い風を背景に、売上高と収益性の改善が当面持続すると見込まれますが、市場全体に対する相対的なバリュエーションは過去の平均を下回っており、投資魅力は高いと考えています。潜在的な買収ターゲットとして医療テクノロジーの中小型成長株への関心が復活することも期待されます。ポートフォリオは様々な治療領域を幅広くカバーしながら、成長性に確信の持てる有望銘柄をバリュエーションに留意して入れ替えていく方針です。開発力や販売力、コスト競争力に優れた大手企業とともに、ユニークな医療テクノロジーを備えた企業にも注目していきます。

(C P R アセットマネジメント)

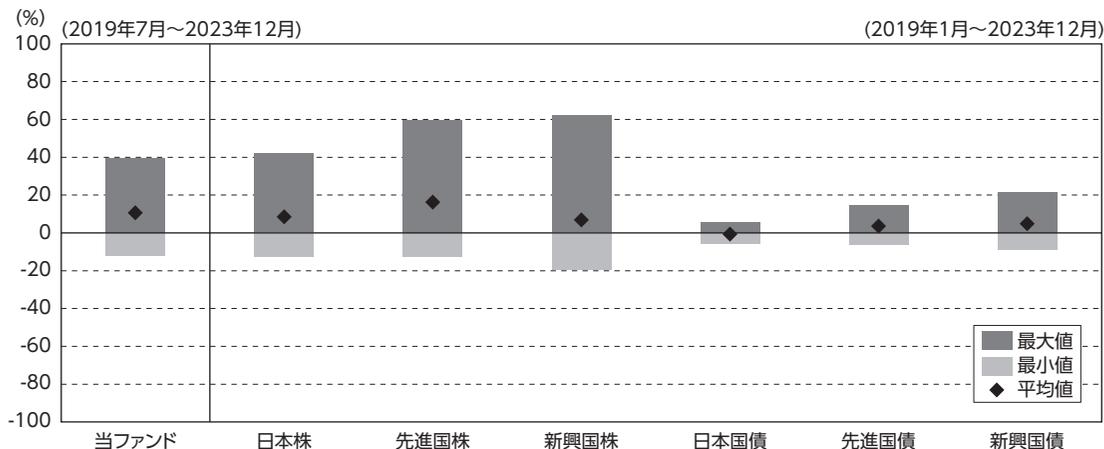
お知らせ

2023年10月19日付で、2024年1月1日より開始する新しいNISA（少額投資非課税制度）のうち成長投資枠の対象とするべく、税法上の要件を満たしていることを明確化するため、また、信託期間を無期限とするため、投資信託約款および付表に所要の変更を行いました。

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2018年7月31日から無期限です。	
運用方針	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド (年2回決算型)	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド受益証券
	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	先進国の医療テクノロジー関連企業の株式
運用方法	マザーファンドにおいては、個別銘柄選択を重視した運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	毎決算時（年2回、原則毎年1月および7月の各15日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	10.6	8.4	16.2	6.8	-0.7	3.6	4.8
最大値	39.6	42.1	59.8	62.1	5.4	14.3	21.5
最小値	-11.9	-12.8	-12.4	-19.7	-5.5	-6.1	-8.8

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 当ファンドについては、2019年7月から2023年12月の4年6ヵ月間、他の代表的な資産クラスについては、2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・ 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・ 当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・ 騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

2024年1月15日現在

(組入銘柄数：1銘柄)

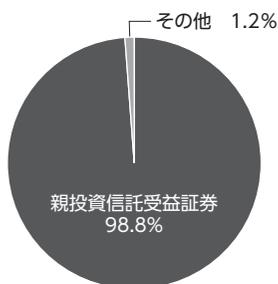
銘柄	通貨	比率
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	円	98.8%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成

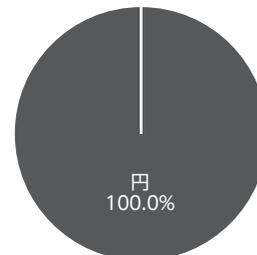
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第11期末 2024年1月15日
純資産総額	46,079,442,116円
受益権総口数	41,540,820,839口
1万口当たり基準価額	11,093円

※当期間（第11期）中における追加設定元本額は3,349,628,412円、同解約元本額は4,056,539,988円です。

組入ファンドの概要

<アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド>

第5期 決算日：2023年7月18日

(計算期間：2022年7月16日～2023年7月18日)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

2023年7月18日現在
(組入銘柄数：48銘柄)

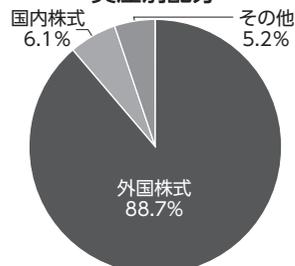
	銘柄	通貨	業種	比率
1	BOSTON SCIENTIFIC	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	7.7%
2	ABBOTT LABORATORIES	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	7.4%
3	INTUITIVE SURGICAL INC	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	7.1%
4	STRYKER	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	5.9%
5	MEDTRONIC PLC	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	5.6%
6	DEXCOM INC	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	4.8%
7	ESSILORLUXOTTICA	ユーロ	ヘルスケア機器・サービス	4.8%
8	ALCON INC	スイスフラン	ヘルスケア機器・サービス	4.6%
9	BECTON DICKINSON	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	3.8%
10	IDEXX LABORATORIES INC	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	3.4%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

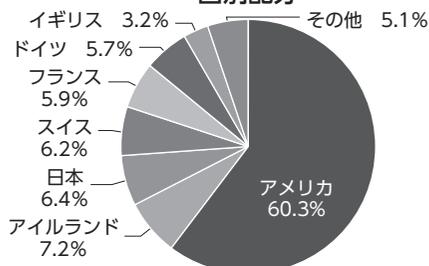
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成

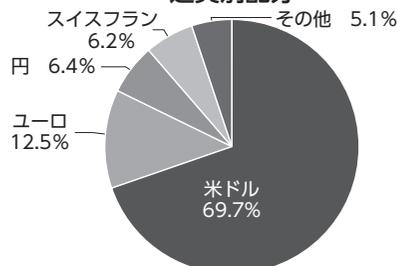
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

項目	第5期 (2022年7月16日 ～2023年7月18日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	2円 (2) (0)	0.011% (0.010) (0.001)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	3 (3)	0.021 (0.021)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)	0.012 (0.011) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	7	0.044	

期中の平均基準価額は16,060円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

• MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社 (以下「NFRC」という。) が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRCに帰属します。

• FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント